

2012年2月25日

同窓会報

■発行／同窓会事務局 〒935-8535 氷見市幸町17-1 氷見高等学校内 Tel0766-74-0335 Fax0766-72-8136
ホームページアドレス <http://www7b.biglobe.ne.jp/reiho/index.html>



中庭の 莊川桜二世 アズマヒガンザクラ

母校の桜



同窓会事務局長
吉野 耕三

我が故郷自慢の桜の名所朝日山公園のソメイヨシノにも老木が目立ち、これからは数多の品種の桜の若木が成長しつつあるふれあいの森公園が、新たな花見名所として賑わってくるに違いない。ふたつの公園を結ぶ道中には母校氷見高校があり、我々卒業生にとっては、道すがら校舎やグラウンドを背景に観る母校の桜にも一頻り感慨に耽ることができるであろう。

校門前の歩道上を覆う万葉植物園下の古木やグラウンド縁の若木の並木、そして本校舎の中庭には、彼の莊川桜二世と云われるアズマヒガンザクラが枝を広げ咲き誇る。このアズマヒガンザクラ、脇にある標柱を見ると「平成十年植樹・氷中第九回卒業生有志」とある。中学第9回卒業と云えば、私達が高校生の時の学年主任で高校第10代校長であった恩師故高峯正岡先生や、同窓会第3代会長の故加藤道郎先生達の御同期である。私達高校

第18回卒もそれに倣って、平成15年夏初めて普通科商業科合同の同窓会を開催した折に記念植樹を企て、一番目立つ正門脇に枝垂れ桜の苗木を植えたのだが、なぜか7年目の一昨年の春には花芽が付かなくなってしまった。弱卒どもの分際で偉大な先輩を真似たのが逆鱗に触れたのか、はたまた八十有余回の歴史ある同窓会に無断で一等地を占有したのが咎められたか、樹木医の「周りの木々に妨げられ」という見立てにより、ハナミズキの一種山法師に植え替えた。

桜の咲く4月は、毎週末ともなると、グラウンドでは野球部と遠来の強豪校との練習試合が行われていることが多い。目前の北信越大会県予選にむけて、そして何よりも夏の甲子園を目指す母校の選手達の真剣なプレーに、思わず応援に力が入り、時を忘れて見入ってしまう。校庭では行き交う生徒から、また部活動の練習に励む部員達から次々と「コンニチワー!」、「チワッス!」と明るい元気な挨拶を受ける。こちらも反射的に「こんにちは」と答えて後輩達を励ましてやらねばと思い、「頑張れよ!」とひと声放つのも、つい口ごもってしまっている自分が情けない。澁刺とした生徒達や校内の雰囲気触れて、ひと時先輩面を引っ提げながら若やいだ気分になり、何よりも元気が貰えるのが有難い。

桜は菊とともに日本の国花とされ、日本人が古来より最も愛してきた花と云える。桜花の優雅で気品ある美しさのみならず、その特性が日本人の美意識や情趣を嗜む心情を惹きつけ、好まれてきたからであろう。また桜は我々日本人の精神、国民性の象徴とも云われており、それには「潔く散る」ことを喩えとして、自己犠牲や忠義の象徴として賛美された一時期もあったが、新渡戸稲造は著書「武士道」の一節で、「本居宣長は、『しきしまのやまと心を人とはば 朝日ににほふ山ざくらばな』とよんで、日本人の純粹無垢な心情を示す言葉として表した」と述べ、また「はかなく、風のままに散ってしまうこの花が『大和魂』の典型なのだろうか」と書き著していることにも思いを巡らす。

昨年の大震災において、日本人の道徳倫理観や規範意識、礼節や助け合いの心が全世界の賞賛を浴びたことが記憶に新しい。我々日本人は桜を愛でる心の豊かさとともに美しい心、気高い品性をも併せ持っていることに改めて感慨を深くした。日本と故郷の、そして母校の美しい桜とともに我が誇る精神文化や伝統が、必ず後輩達に受け継がれていくであろう。

魅力ある新氷見高校を目指して



校長 藤田 栄

同窓会員の皆様方には、日頃から本校の教育活動に格別のご理解とご支援を賜っておりますことに心より感謝申し上げます。

早いもので次年度が新氷見高校の完成年度となりました。市内唯一の県立高校として、生徒や保護者の皆様、地域の方々にとって、

これまで以上に魅力ある学校となるよう取り組んでいるところです。その取り組みの一端として、再編統合の進捗状況と学校生活、東日本大震災への支援活動等の様子をご報告させていただきます。

その1 新実習棟の竣工式

平成23年12月8日(木)、再編統合に伴う新実習棟の竣工式が石井知事、横山副議長、有磯、氷見両校の同窓会長はじめ多数の来賓の方々にご臨席を賜り行われました。式では石井知事による式辞の後、横



実習棟

山副議長、堂故氷見市長からの祝辞をいただき、生徒会長の感謝の言葉で式を終えました。この実習棟は3階建て延べ面積625.44㎡で、設備として、レトルト殺菌機やオープン、ショックフリーザー、クリーンベンチ、福祉講義机とベッド、電子計算組織等が備えられることになっております。各専門分野における先端技術に対応できるこれら設備を使って専門学科の拠点を担うことになっています。

その2 新高校の校旗、校歌の制作

●「校章」「校旗」

校章は、両校の生徒・教職員から募集したデザイン画(およそ百数十点)を基に、氷見市の花木である「ツツジ」をモチーフとして作製しました。また、今



新校旗

回、実習棟の竣工式に併せて新しい校旗を制作しました。

●「校歌」

両校の同窓会役員、PTA役員、氷見市推薦の方、両校職員を委員とした校歌検討の委員会を立ち上げ、作曲を富山大学人間発達科学部の松本 清教授に、作詞は同大学人文学部の呉羽 長教授にお願いしております。平成24年度の入学式には新しい校歌で、新入生を迎えることにしております。

その3 新高校の新たな取り組み

●文理探究コース(2年次から)を開設

普通科の1クラスを文理探究コース(文系・理系)として、これまで以上に少人数指導を取り入れ、より発展的な学習課題に取り組み、探究力や理論的・科学的思考力が伸ばせるようにします。また、富山大学や富山県立大学での講義受講(夏期休業中)や課題研究で大学教官等の専門家から指導を受けます。

●同窓生による座談会の実施

8月下旬、2学年の研修旅行(大阪)において、関西地区の同窓会の皆様10数名を講師に座談会を開催しました。同窓生の話に生徒たちは熱心にメモをとっていました。



関西支部OBとの座談会

その4 学校生活、東日本大震災への支援活動

●学校生活(部活動)

6月初旬、県の高校総体が行われました。その結果、自転車部、男女ハンドボール部、陸上部、ソフトテニス部、体操、水泳部の6部が北信越大会に出場し、ハンドボール部男子が第2位、女子が第3位と健闘しました。さらに、インターハイ(全国大会)には自転車部、男子ハンドボール部が出場しました。

●東日本大震災への支援活動

東日本大震災の被害地復興支援のため、生徒会役員や運動部員等が中心となって、3月の下旬から12月中旬までの数回、市内のショッピングセンター3店で募金活動を行いました。



東日本大震災支援募金活動

また、8月には、生徒とPTA関係者26名が岩手県陸前高田市を訪問して、住宅のがれき等を撤去する作業を、12月には、生徒と教職員、氷見ロータリークラブの関係者17名が同市の広田小・中学校を訪問し、授業用のミシン7台を贈るとともに仮設住宅66世帯を訪問し、支援物資等を届けてきました。

終わりに、リーマンショックに始まる経済不況、追い打ちをかけるように発生した東日本大震災と福島原発事故、日本全体が先行き不透明な大変厳しい状況になっております。このような時代だからこそ、生徒一人ひとりが意欲を持ってたくましく生き抜いていけるよう、優れた知性、豊かな心、健やかな体を身につけられるよう、よりよい環境を整えたいと思います。

これから先、新高校として取り組むべき課題は多々ありますが、教職員一同、問題点を1つ1つ克服することで魅力ある学校づくりに努めたいと考えています。皆様方には今後とも本校に対するご支援とご理解、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

第44回 同窓会総会と懇親会「同窓生の集い」

平成23年9月18日(日) 於：マイアミ

総会は細川同窓会会長の挨拶の後、
とどおりなく議事が運営されま
した。懇親会「同窓生の集い」は100名を超える同窓
生が集まりました。楽しい
懇親会の様子は氷見高校
同窓会ホームページをご
覧ください。



麗峰グリーン会

氷見高校を卒業された皆様方におかれましては、様々な地域や場面でご活躍のこととお喜び申し上げます。

2012年・平成24年度の開催は4月29日(日)・8月16日(木)の予定です。例年、ゴールデンウィークとお盆に開催しており、参加人数は約60人で、会としてはまだまだ参加者を募集しております。県外でご活躍されている方、Uターンで戻られた方、里帰りの方など、この会を利用して懐かしい顔を合わせてみませんか？久々の参加で賞品ガッポリ、あいつには負けれない、久しぶりどうしてる？でゴルフそっちのけなど、その年代年代で様々なドラマが繰り広げられます。皆様の参加を心よりお待ちしております。

その他に「富山県高校OB対抗ゴルフ大会」の氷見高校OBチームのお世話もさせていただいております。我こそはと思われる方、どしどしコンペに参加してチームに入られてはどうでしょうか。

また、本会は誕生24周年を迎え、今まで以上に皆様に喜んでいただけるよう頑張っていきたいと思っておりますので、どうか宜しくお願い申し上げます。

2011年・平成23年度の成績

4月29日(金)

優勝 鞍本 茂	6位 柿谷 敏之
次勝 柳田 正次	7位 竹内 則之
3位 川合 光男	8位 宝住 文雄
4位 遠藤 和善	9位 福嶋 勝則
5位 田中 邦昭	10位 関 勝之

8月16日(火)

優勝 西塚 信司	6位 寺尾 等
次勝 谷内 文夫	7位 姫野 裕一
3位 関 勝之	8位 山野 敏也
4位 柳田 正次	9位 中山 圭三
5位 清水 幸雄	10位 海津 憲次

詳細につきましてはホームページを御覧ください。 <http://www.e-himi.com/green/>

今後の皆様のご活躍をご祈念申し上げ、ご案内とさせていただきます。

麗峰グリーン会事務局 佐伯 鉄夫

第23回卒業生同窓会

昭和46年に氷見高校商業科を卒業して40年ぶりに同級生と再会し、大変盛り上がり、楽しい会となりました。中でも、恩師清水芳隆先生の若々しさと、昔と変わらぬ熱さに一同ビックリ。先生のますますのご健勝を念じ、仲間との再会を約して散会しました。

各年代の同窓会を紹介いたしますので氷見高校同窓会事務局までお知らせ下さい。FAX・メールでもかまいません。



関東支部だより

《第28回総会・会員の集い》

第28回「関東支部総会及び会員の集い」は10月16日（日）市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷（私学会館）に於いて開催されました。

第1部の総会は、船木昭二常任幹事（高29回）の司会で始まり、物故会員のご冥福を祈り黙禱を捧げた後、扇内秀樹会長（高13回）が「伝統を誇る本会も、毎年出席する人数も固定化し高齢化の傾向にあり、将来を心配している。若い会員の出席を促し、より活性化に努めたい」との挨拶がありました。

議事は、平成22年度収支報告を新堂 弘會計幹事（高20回）、同監査報告を菅沢不二夫会計監事（高18回）が行い、全員が拍手で承認されました。

引き続き、国本詔夫幹事長（高13回）役員改選の動議があり、平成24年度以降の関東支部会長に番匠 勉（高14回）が選任されました。番匠新会長から「伝統を継承し、さらなる発展に努める」旨の挨拶の後、会則第8条に則り指名した副会長、幹事長の賛同を会員の拍手多数により承認されました。

副会長、幹事長は次のとおりです。

副会長：高14回 戸井善治、高15回 伏脇忠雄、大坪亮一、
高19回 戸谷伸右

幹事長：高14回 木原周三

また、同窓会顧問、副幹事長、会計監査・幹事、常任幹事、学年幹事については平成24年度水見高等学校同窓会関東支部役員名簿のとおりです。

第2部では、ご来賓の紹介とご挨拶をいただきました。

ご来賓	水見高等学校	同窓会会長	細川 勝行	様	18回
		同窓会副会長	源 兵司	様	13回
		同窓会総務部長	吉野 耕三	様	18回
水見高等学校	校長	藤田 栄	様		
水見高等学校	恩師	田中 春男	先生	18回	
水見高等学校	総務部長	開 美代子	様	32回	
東京水見会	副会長	矢代 弥六	様	12回	
東京富山県人会連合会常務理事	桃井 清治	様			
北日本新聞社東京支社長	竹沢 豊	様			

細川同窓会長からは水見高校と有磯高校の統合に伴い、同窓会の在り方について両校OB主要メンバーで話し合った旨の報告がありました。統合後の生徒が卒業するのを機にいったん同窓会を解散し、新生同窓会として発足するとのことでした。

藤田校長先生からは平成22年度の大学入試結果が近年ではすこぶる良く、特に国公立大学への合格が多かったが、一方就職については相変わらず厳しい状況が続いているとの説明がありました。部活動では、自転車競技で全国高校総体2位になったのを始めとして、ハンドボール、水泳、陸上競技、体操、吹奏楽等で皆好成績をあげたことのお話がありました。

矢代東京水見会副会長のご挨拶、東京水見会の活動状況、事業計画等の説明があり、「水見会と同窓会是一体、積極的に会に加入して欲しい」とのお話がありました。

最後の挨拶は田中春男先生です。先生は通算20年水見高校で勤務、うち17年は保健体育を担当され、野球部の監督15年、陸上部の監督、自転車部の監督を勤められました。水見高校が初めて甲子園に行った際、当時部員であった先生にとって感激これに勝るものはなかったこと、野球部監督として春の選抜で水見高校を甲子園に導いた苦労話など、実体験に基づく話であり参会者一同耳を澄まして聴き入り、わが母校の健闘とその労苦に対し惜しめない拍手がわきました。

第3部懇親会は東軒嘉臣会員（高6回）の乾杯のご発声で賑やかに開宴となりました。

会場の賑わいも最高潮に達した頃、例年恒例のビンゴゲーム大抽選会は久保仁常任幹事（高19回）の司会で開かれ、会員有志から提供された景品や江政商店さんから提供いただいた水見の土産を中心とした景品の獲得をめざし場内は大いに盛り上がりしました。

楽しい宴も残念ながら所定の時間となり、藤田校長と、扇内会長による万歳三唱とエールの交換を行い、新生水見高等学校及び同窓会関東支部の発展を祈念しました。

校歌斉唱は例年のとおり、水見高校出身のシャンソン歌手真咲京子（高20回）さんの指導のもと済々と実施されました。校歌終了後、恩師の田中先生から突然、水見高校の応援歌（凱歌）をぜひ会員に披露したいとの申し出があり、勇壮な凱歌の披露があり、かつて運動部においてこれ聞いたという人たちとの大合唱となり、会員一同おおいなる勇気を受けてました。



番匠新会長

関西支部だより

《第27回総会・懇親会》

関西支部会では平成23年5月15日、水見高校藤田栄校長、室田忠央教諭、同窓会本部北鹿渡文照会長代行、吉野耕三事務局長らご来賓の臨席を得て、第27回総会・懇親会を、J R大阪駅のホテルグランヴィア大阪で開催しました。

ご来賓の皆様からご祝辞や新制水見高校と同窓会本部の活動状況をご報告いただきました。当支部会山崎会長から来賓の皆様への謝辞・出席会員及び支部会を支えて下さった関係者へのねぎらいの言葉がありました。

懇親会では、ご来賓や会員の楽しいスピーチと、米田美智子さんの日本舞踊（夜桜挽歌）、カラオケ、お楽しみ抽選会などで楽しいひと時を持ちました。

《在校生との懇談会》

昨年8月水見高校現役生徒約160人が研修旅行で関西においでになりました。8月24日の夜は関西支部有志13人との講演会・懇談会の時間とっていただきました。強行スケジュールでの疲れも見せず講演を聴いたり、懇談をしたりする真剣な態度に講師も熱心に対応いたしました。

《第28回グルメの会》

1月29日、新年会を兼ねて第28回グルメの会を開催致しました。美しい自然に恵まれた豪邸で、おいしい和食をいただきながら平成24年のスタートを切りました。

《会報雷鳥一号の発行》

関西支部会では毎年会報を発行しております。3月末に第27号を発行します。水見高校からの近況報告、会員の随筆、関西支部会の活動状況、水見のトピックスなど満載の予定です。

《第28回総会・懇親会—予告》

関西支部会では本年5月13日第28回総会・懇親会をホテルグランヴィア大阪で開催します。関西在住の皆様のご出席をお願い致します。



2～10年生及び田中先生



11年生



12年生及び20回生



13、34、35、36回生

3年3組 高林 大樹



私は、昨年の8月と12月に行われた学校のボランティアに参加し、岩手県陸前高田市へ行ってきました。8月は、生徒22人と先生方・PTAの方々合わせて26人で、海岸に打ち上げられた瓦礫の撤去作業をしました。海沿いの道の周囲には、家の高さほどもある瓦礫の山が無数にあったり、車や船が横倒しになっていたり、とても日本とは思えない光景に言葉を失うくらい衝撃を受けました。釘や金属片などで怪我をしないように長靴の中に鉄の板を入れ、熱中症に注意しながらの作業でした。作業後、被災された方々のお話を聴き、津波の猛威や、今どのように生活しているか、中でもご家族を亡くされたお話を聴くことは本当に辛いことでした。

12月の活動は、小学校のグラウンドに建てられている60軒余りの仮設住宅一軒一軒に、米やみりん干し・ぶりのなどの特産品を届けました。ぶりは、同行された氷見ロータリークラブの方が小学校の調理室でさばき、さしみにして配りました。この時の活動の方が、8月の時よりも明るく活動できました。なぜなら、被災者の方々は私たちよりも明るく元気だったからです。今回の活動で特産品だけでなく元気も届けたいと意気込んでいたのですが、逆に私たちが元気をもらって来たように思います。

被災地の現実テレビや新聞ではとても想像できないものでした。震災からやがて1年が経ちます。学生である私たちができることは微々たるものですが、できる限りのことをして、長い目で見守り続けたいと思います。



- 北信越高等学校体育大会ハンドボール競技

男子の部	出場
女子の部	出場
男子の部	出場
- 全国高等学校総合体育大会
- 全国高等学校ハンドボール選抜大会
- 第35回北信越予選大会

男子の部	第3位 (全国大会出場)
女子の部	第4代表 (全国大会出場)



ハンドボール部男子
インターハイ出場

- 北信越高等学校体育大会 自転車競技

3km インデヴィデュアル・パーシュート	第3位 岡田 徹也
個人ロード	第8位 岡田 徹也
- 全国高等学校総合体育大会 自転車競技

3km個人追抜き	24位 岡田 徹也
個人ロード	112位 大浦 堯



自転車部
インターハイ出場

- 北信越高等学校体育大会 水泳競技

女子50m自由形	出場 川幡 真子
女子100m背泳ぎ	出場 余川 実椰
女子800m自由形	出場 余川 実椰
女子200mバタフライ	出場 武田玲伊奈
女子400m個人メドレー	出場 武田玲伊奈

- 北信越高等学校体育大会 陸上競技

やり投げ	出場 越 大地
------	---------
- 第55回 北陸陸上競技選手権大会

5000m競歩	出場 林 有理沙
---------	----------

- 北信越高等学校体育大会 体操競技

出場	田口 晶子
出場	藤重明香里

- 第35回全国高等学校総合文化祭
自然科学部門研究発表(生物)
文化連盟賞
- 第55回日本学生科学賞
富山県審査委員会 優秀賞

理科部
全国高校総合文化祭
文化連盟賞受賞



- 富山県高等学校弁論大会 最優秀賞 開上 凜己 (全国大会出場)
- 非行防止標語募集

高校生の部	最優秀賞 九澤由美子
	優秀賞 新堂 彩華
	優秀賞 田口 椋子
- 第28回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト富山県大会

スピーチの部	最優秀賞 山下留未華
	優秀賞 廣瀬優伽史
	奨励賞 堀田 明美
	奨励賞 三島 彩芽
- 第1回「話してみよう韓国語」富山県大会

最優秀賞	山下留未華・嵐 真梨奈 (全国大会出場)
------	----------------------
- 情報処理技術者試験 国家試験合格 竹原 雄貴

富山県商業高等学校校長協会 公益財団法人全国商業高等学校協会 後援:文部



全国商業高校英語
スピーチコンテスト出場
山下 留未華

□進学・就職状況

平成23年3月卒業生の進学・就職状況は次のとおりです。

●進学

〈大学・短期大学等合格者数〉

年 度	学科	大学等			短 大			大 学 校	専 門 学 校	全 体 合 計
		国 公 立	私 立	計	国 公 立	私 立	計			
平 成 22 年 度	普通科	34 (4)	141	175 (4)	4	26	30	3	36	244 (4)
	商業科	3	5	8	0	2	2	0	10	20
	計	37 (4)	146	183 (4)	4	28	32	3	46	264 (4)

・主な進学先（4年制大学）

国立大学… 富山大、金沢大、宮城教育大、信州大、福井大、滋賀大

公立大学… 富山県立大、都留文科大、高崎経済大、新潟県立大、山梨県立大

私立大学… 明治大、法政大、日本大、大東文化大、東海大、富山国際大、金沢工業大、
中京大、京都産業大、同志社大、立命館大、関西大、近畿大、他

●就職

〈学科別状況〉

	男子	女子	計
普 通 科	2	2	4
商 業 科	9	10	19
計	11	12	23

・就職先

富山県警察、西日本旅客鉄道、YKK、
コマツキャストックス、
アイシン軽金属、JFEマテリアル、
日本曹達、オプテス、
タカギセイコー、氷見市農業協同組合、
氷見伏木信用金庫、伏木海陸運送、
きくら美粧室、パール美容室、他

実習棟が完成しました

12月8日(木)に、石井県知事や横山県議会副議長、堂故氷見市長を来賓にお迎えし、実習棟の竣工式が行われました。実習棟は1階に食品加工実習室、2階に農業実験室と福祉実習室、3階には情報活用室が設備されています。竣工式では、来賓の方々から祝辞をいただいた後、生徒会長の開上滉己君が感謝の言葉を述べ、テープカットが行われました。



からたちの会より寄付

11月21日(金)に、氷見高等女学校同窓会「からたちの会」の国田代表が来校され、同会の活動休止に伴い、会計の残金を寄付されました。吉野同窓会事務局長と藤田校長同席のもと、北鹿渡同窓会会長代行が受け取りました。



【事務局だより】

氷見高校同窓会報第22号（復刊15号）を発行いたしました。

ご承知のとおり、この3月の卒業式をもって旧氷見高等学校は閉校し、有磯高等学校と再編統合された新氷見高等学校へと完全に移行いたします。それに伴いまして、旧氷見高校同窓会も一旦これを区切りとし、新氷見高校同窓会設立にあたって、どのように協力していくのか、現在話し合いを進めているところであります。

時代の流れに従いまして、同窓会の形を変えざるをえないこととなりましたが、同窓生諸兄、諸姉の母校に対する尽きせぬ思いを、ぜひ次世代にも注いでいただき、今後も温かく見守り続けてくださることをお願い申し上げます。

同窓会会員名簿が完成しました

平成24年同窓会会員名簿が完成しました。ご購入を希望された方には、2月1日より発送しております。この後の購入につきましては、氷見高校の同窓会事務局へご連絡ください。

